

令和7年度第2回青少年ホーム運営委員会 会議録（要約）

1 日時

令和7年12月17日（金）19時00分～20時30分

2 場所

松本市なんなんひろば 会議室

3 出席者

勝亦委員長、小澤副委員長、坂本委員、湯澤委員、高橋委員

4 事務局

若者参画課：坂上課長、永井課長補佐（青少年ホーム所長）、小船井主事

5 議事

- (1) 令和7年度事業経過報告
- (2) アンケート結果について
- (3) 今後の青少年ホームの在り方

6 結果

- (1) 令和7年度事業経過報告

委員：承認

意見等

- ・なんなんフリースペースを設けたことで、施設利用を目的とする以外に「何となく・ふらっと」訪れる方が若干増えてきていると感じる。
- ・今年度までのヤングスクールは、参加人数が少ない講座があるのが実情です。来年度以降は、若者が企画を行いながら開催することを検討中。

- (2) アンケート結果について

- ・アンケートは夏頃の、状況が正確に分かっていない時にとったため、あまり意味がなかったと感じた。
- ・アンケートによって、聞きたかったことを聞くことができたのか。
- ・アンケートの自由記述では、普段お聞きすることがなかった意見を聞くことができた。

- (3) 今後の青少年ホームの在り方

- ・今後、どのように青少年ホームが変わるのが見えてくると、利用者は安心するが、分からない場合や休止等の話があると、「なくなる」「使えない」という不安な意識が先に出てしまうと

思う。

- ・ 青少年ホームは廃止ではなく、見直しという事か。
- ・ 青少年ホーム事業の廃止は考えていない。条例については、見直すことも考えたい。
- ・ 平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置努力義務が無くなった趣旨を考える必要があると思います。一定の役割を果たしたこと、優先度が時代と共に変わってきた等が考えられます。いろいろな方向性が考えられるので、大変さを感じました。

その他

- ・ 委員改選について連絡
- ・ 引き続き青少年ホームの在り方について検討していく。